

RFワールド

RADIO FREQUENCY

特集案内 RFワールド No. 44 (2018年10月29日発売)

「事前にチェック！マイクロウェーブ展 2018 プレビュー」

■企画趣旨

高周波専門誌「RFワールド」は、11月28日(水)～30日(金)に開催されるマイクロウェーブ展2018のプレビュー企画をおこないます。

今年のマイクロウェーブ展は『マイクロ波がつなぎ、響きある共創社会』を基調コンセプトに、マイクロ波技術が果たす役割を発信していきます。未来のヒントがたくさん集まる本展示会に関係者の注目が集まることは間違いありません。

本広告企画「マイクロウェーブ展2018プレビュー」では、出展社様の製品を告知することで、ブースへの集客の一助となることを目的としております。また、来場できない日本全国のユーザに、本誌を通じて広く製品を告知できるものと自負いたします。

この機会に広告掲載のご検討をいただけますよう、謹んでお願い申し上げます。

■企画内容

- ・巻頭インタビュー MWE2018 実行委員会委員長に聞く「MWE2018」の見どころ
- ・MWE2018 ワークショッププログラム
- ・MWE2018 出展企業セミナープログラム
- ・MWE2018 展示会場地図
- ・MWE2018 出展企業の広告 など

■広告出稿の特典

- ①マイクロウェーブ展出展社様に限り広告掲載料金を値下げいたします。

広告スペース	通常料金	特別料金
4色1ページ	360,000円	240,000円
2色1ページ	240,000円	180,000円
白黒1ページ	180,000円	120,000円
白黒1/2ページ	120,000円	80,000円

- ②RFワールドのWEBサイトにバナー広告を掲載いたします。

■編集特集

GNU Radio CompanionならGUIで楽々プログラミング！

【GRCで広がるSDRの世界（仮題）】

●企画の主旨

ソフトウェア無線(SDR)は、このところ注目を集めてきました。なかでもGNU Radioはオープン・ソースのフリーウェアなので、フレキシブルで高い可能性を秘めているのですが、最初のハードルが想像以上に高いようです。

しかしそんな状況もGRC(GNU Radio Companion)の利用で変わるかもしれません。GRCはLabVIEWのVIやMATLABのSimulinkのようなフロー・ダイアグラムによるプログラミング・ツールです。すでに豊富な機能ブロックが用意されており、それらを組み合わせるだけなら、Python言語もC言語も必要としません。あなたはマウスで機能ブロックをつなぎ合わせ、パラメータを設定するだけで自由自在にオリジナルなSDRを作りあげることができます。

本特集では、そんなGRCで広がるソフトウェア無線の世界をご紹介します。

●想定読者

研究/開発/設計などに、職業的に取り組むプロのエンジニア。

無線や高周波に興味をもつ高専/大学生、若手研究者、企業の新入～入社3年程度までの社員。

■広告進行日程

申込締切	入稿締切	発行日
9月21日	9月26日	10月28日

■媒体概要

発売日：年4回（1/29, 4/29, 7/29, 10/29） 本文：144ページ

定価：1800円+税 判型：B5判・無線綴じ

発行部数：20000部

■広告のお問い合わせ先

CQ出版社 メディア開発グループ 中元

TEL. 03-5395-2131

E-mail. nakamoto@cqpub.co.jp